

私立大学図書館協会 2005 年度第 1 回協会ホームページ委員会西地区連絡会

日 時：2005（平成 17）年 11 月 21 日 14：00～16：45

場 所：広島経済大学図書館 4 階研修室 2

出席者：北村泰治（西地区部会長校、久留米大学図書館）、鈴木卓美（東海地区、金城学院大学図書館）、高靖敏（京都地区、佛教大学図書館）、中間久美子（阪神地区、大阪国際大学総合メディアセンター）、辻水衣（中国・四国地区、広島経済大学図書館）、長岡武史（九州地区、西南学院大学図書館）、久世正友（会長校、龍谷大学学術情報センター）、石田信（委員長、南山大学図書館）

[配付資料]

議事次第

出席者名簿

新規加盟・館名変更の申請と HP 更新の流れ

私立大学図書館協会 WWW 情報資源提供サービスの概要と利用申請の手引き

私立大学図書館協会ホームページ委員会設置要項

2005 年度図書館協会 HP 委員会会務報告

議事に先立ち会の概要の説明と出席者の自己紹介が行われた。

1. 報告事項

・西地区連絡会について：設置までの経緯報告

北村委員より 2004 年 11 月 9 日の明治大学、2005 年 4 月 20 日の龍谷大学での委員会の議事録をもとに説明が行われた。HP 委員会を縮小することになり、2005 年度は西地区の各協議会から必ずしも HP 委員が選出されるわけではなく、西地区の構成上、情報共有や伝達、西地区としてのまとまりなどの問題が生じるため、西地区連絡会の設置の必要性が生じた。これに基づき 6 月 16 日の西地区役員会で西地区連絡会の設置が承認された。西地区内の連絡方法については改めて協議をする。

・2005 年度協会 HP 委員会会務報告

石田委員より配付資料に基づき報告が行われた。

2. 申し合わせ事項

・新規加盟・館名変更の申請と HP 更新の流れについて

北村委員より配付資料に基づき説明が行われた。西地区は東地区に対して申請手続きに手間がかかる。理事校と委員との連携をスムーズに行う必要があるため、西地区では今後は部会長校が新規加盟・館名変更の連絡を委員に行った後、委員が更新作業を行うことになった。

・WWW 情報資源提供サービス（メーリングリスト等）の利用申請について

北村委員より今年度になって ML の管理者の変更手続きが多かったことが報告され、管理者の変更手続きがあれば速やかに連絡するよう依頼された。今後の変更の場合は、委員長に事前に FAX で連絡して手続きを行うことが可能である。ただし新規申請については事前の FAX による連絡は受け付けない。なお、最新の申請リストについては後日北村委員より各地区 HP 担当者へメールで通知されるとのことである。

3.協議事項

・今後の取り組みについて

今後の西地区連絡会は、HP 委員会が西地区で開催される場合に開催することがあり、東地区で開催される場合は、協議事項などを事前に ML で連絡し、意見を出せるような体制にする。HP 委員会の開催通知は、部会長校より事前に連絡があり、ML で協議項目を提出し、HP 委員会で協議をするかを検討する。

4.その他

・迷惑メールへの対策

現在迷惑メールへの対策として、アドレスを画像で表示し、ソース上にもアドレスを記載しないようにしているサイトもあるが、この他にサーバでのフィルタによる防御も併用することができる。それでも迷惑メールによる被害があれば西地区としてだけではなく、協会全体で対策を検討していく。

・HP に掲載するお知らせについて

久世氏より協会 HP のお知らせについては掲載の判断基準がないことについて指摘があった。これについて各委員からも掲載しているお知らせ・行事予定については掲載の判断基準がなく、西地区・各地区 HP とも担当者の判断で掲載している状況が報告された。現在、協会や関連団体からの通知については会長校から加盟館へ郵送による配付をしているが、郵送では時間がかかり、加盟館に届いても館員にまで連絡が伝わらないことが問題として挙げられた。このため久世氏より協会 HP にこれらの情報を掲載すれば上記の問題は解消されるが、掲載の判断基準がないため常任幹事会、地区役員会等で検討したほうがよいのではとの意見が出された。これに対して各委員より協会 HP へのお知らせの掲載については会長校の判断でよいのではとの意見が出された。

・TOP 画面の画像について

西地区の TOP 画面を東地区の TOP 画面にあわせてはどうかを今後検討することになった。

・PDF の表示について

先日北村委員から送付された PDF ファイルが一部の委員で開くことができないことがあり、各委員の利用環境を確認したが、特に大きく異なる点は見られなかった。再度藤倉委員に利用環境などについて確認することになった。

・地域間の交流

各協議会が単独で運営していくのではなく、研究会などの行事に他協議会からも参加できるような体制づくりをした方がよいので、役員会等で検討するよう提案を行っていく。

以 上